

「富士山花火 vs スピードウェイ 2024」

米津玄師とコラボしたミュージック花火打ち揚げ決定

楽曲「地球儀」「M八七」「LADY」と日本最高峰花火の競演

富士山花火実行委員会は「富士モータースポーツフォレスト」と連携し、「富士山花火 vs スピードウェイ 2024」を2024年3月30日(土)に開催いたします。本イベントにて、アーティスト米津玄師さんとコラボレーションしたミュージック花火の打ち揚げが決定しました。楽曲は「地球儀」「M八七」「LADY」です。日本最高峰の花火師たちによる大輪の花火が、音楽とシンクロして春の夜空を彩ります。

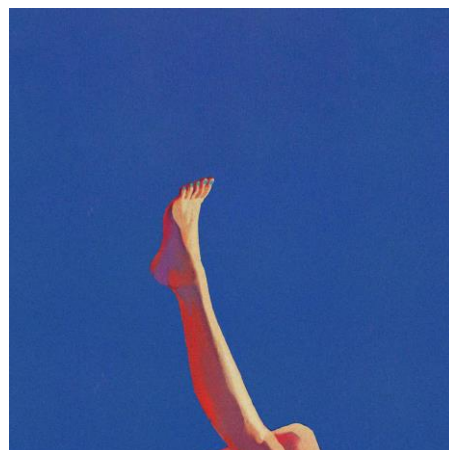
※米津玄師さんご本人の登場はありません。



▲地球儀



▲M八七



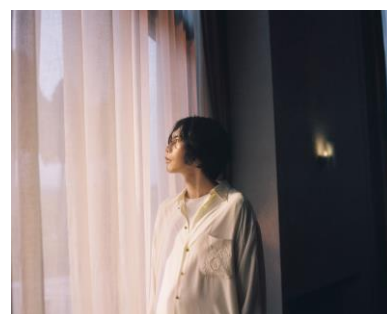
▲LADY

米津玄師さんコラボミュージック花火について

「富士山花火 vs スピードウェイ 2024」の花火プログラムは“星の旅人”をテーマに、見る人々の心に“愛”が深く刻まれるような演出になっています。米津玄師さんとコラボレーションしたミュージック花火は第三幕「星に願いを」での打ち揚げを予定しています。映画「シンウルトラマン」主題歌「M八七」、映画「君たちはどう生きるか」主題歌「地球儀」、「ジョージア」CMソング「LADY」が、夜空に咲く花火とともに、第三幕の愛と希望に満ちた壮大な世界観をつくりあげます。

■米津玄師さんプロフィール

1991年、徳島県生まれ。2009年より「ハチ、名義でボーカロイド楽曲を発表し群を抜いた実績を残した後、12年には本名の「米津玄師、名義で活動を開始。楽曲のみならずアルバムジャケットのイラストや映像制作も自ら手がける。映画、アニメ、ドラマの主題歌、アーティストとのコラボレーションのほか、菅田将暉の「まちがいがし」やFoorin「パプリカ」、DAOKO「打上花火」などのプロデュースでも多彩な才能を発揮。2018年に発表した「Lemon」をはじめ、2020年に発表したアルバム「STRAY SHEEP」、2022年に発表した「KICK BACK」では、数々の音楽史を塗り替える記録を残し、国内外のミュージックシーンで強い存在感を放ち続けている。宮崎駿監督「君たちはどう生きるか」の主題歌「地球儀」は、米津玄師名義として100曲目の作品となった。4月1日より放送となるNHK連続テレビ小説「虎に翼」主題歌として、「さよーならまたいつか!」を書き下ろした。



- ▶オフィシャルHP <http://reissuerecords.net/>
- ▶米津玄師 YouTubeチャンネル <https://www.youtube.com/c/KenshiYonezuHACHI>
- ▶米津玄師 X(旧Twitter) https://twitter.com/hachi_08
- ▶米津玄師 Instagram https://www.instagram.com/hachi_08/
- ▶米津玄師 TikTok https://www.tiktok.com/@kenshiyonezu_08

「富士山花火 vs スピードウェイ 2024」でご覧いただける花火は、コンピューター制御によって音楽とシンクロします。音楽のリズムやメロディに合わせて、1/100秒でシンクロする花火は、打ち上げタイミングや色、形が調整され、美しいショーが生み出されます。

音楽が盛り上がるると同時に大きな花火が打ち上がり、静かな部分では小さな花火が舞い上がることもあります。このようにして、視覚と聴覚が調和した感動的な花火ショーが演出されます。

■第三幕のミュージック花火を打ち上げるイケブン上田工場長コメント

米津玄師さんの楽曲に花火が重なりあう。

誰もが儂く美しい世界を想像することでしょう。

米津さんの声、言葉、メロディー。その全てが、花火に深く重なり合うのです。

だからこそ、1発1発の花火で何を表現したいのか、どんなシーンを描きたいのかを緻密に計算し、想像力を働かせなくてはなりません。

花火が筒の中から昇ってゆき開くまでの時間、開いてから消えゆくまでの色合い、徐々に光が消えてゆく情緒。花火の持つ表現力を一つ一つ、米津さんの世界観に重なり合わせてゆきます。

